

<校務利用> ⑤ 助言者としての役割

生成AIとのやり取りで、複数人で思考するのと同等のアイデアを（使用モデル：Gemini）様々な場面で少し誰かと相談したいなと思うことが多々あります。「自分はこう考えたけど他には無いかな」「違う視点からの意見が欲しい」と思うことも多いのではないのでしょうか。そのような時、生成AIに投げかけてみることで、人数をかけずともブレインストーミングを行うことが可能となります。

例1.校区探検のタイトル作成

校区探検を行うにあたり、子どもたちがワクワクするようなタイトルを付けたいと考えました。担当者で考えたタイトル以外の案も知りたい時に活用できます。

プロンプト

あなたは小学校3年生の担任です。以下の項目に関連させながら校区探検に行くときのタイトルを考えてください。
 ・子どもたちが楽しくなるようなタイトルにしてください。
 ・3つのパターンを作成してください。
 ・校区の特徴を調べるための校区探検です。

生成結果

子どもたちがワクワクするような、3つのタイトル案をご提案します。

- 「わたしたちのまち、宝探し大冒険！」
 - ポイント: 宝探しというワクワク感を盛り込み、子どもたちの探検心を刺激します。
 - 理由: 校区を冒険しながら、様々な「宝」（地域の特産品、歴史的建造物、自然など）を見つけることで、地域の多様性や魅力を発見できます。
- 「まち探検隊出動！謎解きチャレンジ！」
 - ポイント: 謎解き要素を取り入れることで、探検に知的刺激を与えます。
 - 理由: 各所に隠された手がかりを解きながら進むことで、子どもたちは積極的に地域を探索し、思考力を養います。
- 「タイムマシンに乗って、まちのヒミツを探検！」
 - ポイント: タイムマシンというファンタジー要素で、歴史への興味を引き出します。
 - 理由: 歴史的な建造物や地域の変遷を学びながら、昔の暮らしや文化に触れることで、郷土愛を育みます。

例2.働き方改革の効果の検証方法

効果検証をする際に、アンケートを取るという方法以外にどんな方法があるかということを知るために活用しました。

プロンプト

あなたは小学校の教員です。職員の働き方改革の状況を確認するためにアンケート以外の方法を考えてください。

生成結果

◆ 小学校教頭の皆様へ：アンケート以外の働き方改革状況確認方法

アンケート調査は、職員の現状把握に役立つ有効な手段ですが、それだけでは捉えきれない側面もあります。働き方改革の状況をより深く理解するためには、アンケート調査に加えて、多角的なアプローチが重要です。

アンケート調査以外の確認方法

- 職場の観察
 - 日常業務の観察: 職員が実際にどのように仕事をしているか、どのような課題を抱えているか、直接的な観察を通して把握します。
 - 会議の様子: 会議の進め方、参加者の積極性、時間厳守など、会議の質から働き方の効率性を評価します。
 - コミュニケーション状況: 職員間のコミュニケーションが円滑に行われているか、情報共有がスムーズに行われているかなどを確認します。
- ヒアリング
 - 個別面談: 職員一人ひとりと個別面談を行い、仕事に対する悩みや不満、働き方改革への期待などを直接聞き出します。
 - グループインタビュー: 複数の職員でグループを作り、働き方改革に関する意見交換を行うことで、より深い意見を引き出すことができます。
 - フォーカスグループインタビュー: 特定のテーマ（例えば、若い教員、ベテラン教員など）に絞って、深い議論を促します。
- ワークショップ
 - 課題発見ワークショップ: 職員全員で、現在の働き方の課題を洗い出し、改善策を検討します。
 - アイデア創出ワークショップ: 働き方改革に関する新しいアイデアを創出するためのワークショップです。
 - ロールプレイング: 具体的な場面を想定したロールプレイングを通して、問題解決能力を向上させます。
- タイムスタディ